



正規雇用化の数 1人

経営力をつけて、事業承継を行う

楚辺印刷

【代表者】赤嶺 加代美

【住所】那覇市泉崎2丁目23-18

【電話】098-833-4477

【業種】印刷業

【事業内容】各種印刷



企業・支援担当者の声



代表
赤嶺 加代美さん



中小企業診断士
中畠屋 貞美



社会保険労務士
大山 俊雄

支援を受けられた皆さんの感想と今後の展開について

経営理念・長期ビジョン・中期経営計画を策定することの重要性が認識できました。

また、経営理念に基づいた人事政策が就業規則の人事評価制度、健康経営実践に繋がっていくことに気づきを得ました。ありがとうございました。

那覇中心の県庁にも近く、立地には恵まれた事務所である。この地域には本土企業の支店等が多く、そうした企業や官庁を固定客にできると安定した経営になるのではと思われます。

地の利を生かして対象地域をせまい範囲に限定したビジネスモデルもあるのではないかでしょうか。

同事業所では就業規則が制定されていないので、同規則の意義・役割の説明に注力。

更に、その規則を積極的に活用することで、人材育成をはじめ、人事評価制度及び健康経営にも繋がり、労務管理上の重要なツールになることにも理解を得ることができました。

課題1 PROBLEM

事業承継できる人材に、短期間で育てる

当社は、那覇市中心街、県庁に近い泉崎に事務所・工場をおく個人事業の印刷会社です。代表者の高齢化にともない、事業承継すべき人材を求めていたところ、紹介を受け適材を得ることができました。

今回の支援は、営業の経験しかない後継者を短期間で経営者へ育てることでした。後継者にこれまでの経験を聞いたところ、他の印刷会社で営業の仕事をしてきたとのことで、今回のサポートが短期間であることを踏まえ、次のような課題にしばり込みました。

- ①会社の進むべき方法を指示するのが代表の役目であることから、「中期経営計画」をつくること。
- ②各年度は、中期計画をもとに「単年度計画」を作成し、実行すること。
- ③顧客は、「既存客」を固定化し、その上で「新規客」を広げていくこと。

支援 SUPPORT

経営理念、中期経営計画の作成、資金繰り表の作成などを支援

経営者として学ぶべき重要なテーマにしばり込んで支援することにしました。

①中期経営計画を作成すること

- ・経営理念・長期ビジョンを明確にする。
- ・自社の強みを活かした計画とする。
- ・社会はつねに変化しているので変化を見逃さない。
- ・3~5年の数値計画を作成する。

②それに基づき、単年度計画(予算)をつくること

- ・単年度計画は月次で作成し、実績と比較する。

- ・毎月、P D C Aのサイクルを回していく。
- ・資金繰りは損益と別にきちんと行う。
- ③顧客は、固定客を固め、新規客へも広げる
 - ・取引先とはWIN-WINの関係を築く。
 - ・県庁・市役所が近いので、官庁へも働きかける。
 - ・仕事は常にていねいに、顧客と約束したことは絶対に守り、信頼を得られるようにする。

成果 RESULT

事業承継へ大きく前進!

成果としては、次のようなことがあげられます。

①経営理念・長期ビジョン・中期経営計画を作ることの重要性が認識できました。

②計画に基づいてP D C Aを回しながら、業務を遂行していくことの重要性を認識できました。

③一社員としてではなく、経営者感覚で仕事を進めることの重要性が認識できました。



課題2 PROBLEM

生産性の向上は、人材育成にあり!

営業実績は低調な推移にあるが、採算性は維持されているので営業力如何では、業績アップも可能であることから営業部門の再構築の必要性が認識されました。

そのことから営業担当者の職業訓練システムの構築が早急に求められていました。

今回キャリアアップ助成金の活用で、同システムを含めた人材育成計画を進めているが、その土台となる就業規則が制定さ

れてなく、同規則の制定が課題となっていました。

一方で、経営者は、平成30年度に県の健康経営の取組を啓発する「職場の健康力アップ支援事業」に取組まれた経緯があり、生産性向上に直結する「健康経営」の手法を取り込むことも視野に入っています。また、人事評価制度も今回の就業規則の制定に併せて盛込むことを検討しました。

支援 SUPPORT

就業規則の制定が人材育成・健康経営の出発点!

①人材育成について

営業部門の強化の必要性があり営業部門の人材育成方法について体系図をはじめ、訓練カリキュラム、実施計画表等の作成支援を行いました。

②就業規則の制定

キャリアアップ助成金等の活用

労働環境の改善及び人材育成につながるキャリアアップ助成金制度の活用については、就業規則に正規雇用転換制度の条項を整備した上で、キャリアアップ計画書の提出が可能であることなど説明、主にキャリアアップ計画書の作成を支援しました。

キャリアアップ助成金の正社員化コースの支給申請方法に

つき、チェックリストに従い、関係書類や添付すべき書類の詳細について説明、支援を行いました。人材育成については、食品製造に係る職業訓練カリキュラムや能力評価シートの作成支援をしました。また、人材育成にも繋がる人事評価制度の説明及び就業規則への反映についても説明をしました。

③健康経営の導入に向けて

同事業所は平成30年度に県の「職場の健康力アップ支援事業」を実施し、健康経営を実践する段階に来ているので、①・②と密接な関連のある健康経営の取組みで生産性を上げ、企業価値を高める手法について県の資料等を配布し詳しく説明しました。

成果 RESULT

事業発展の基盤となる就業規則を経営に活かそう!

人材の育成については全社的な教育訓練体系図から個々の職務訓練カリキュラムの提示があり、参考となると同時にこの手法を活用すれば、短期間に職員のキャリアのアップにつながり戦力化できるものと自信を持っていただくことができました。

人材育成をはじめ、人事評価制度及び健康経営が就業規則を通して体系的に位置付けられていることに気づいていただくことができました。今回の支援で、経営者の思い(経営理念)を反映した就業規則を制定することができたことから、今後は同規則を従業員と共有し、事業の更なる発展を期待します。





若手経営人材育成と 新たな事業展開の推進支援

有限会社高江木工

【代表者】高江 尊
【住所】沖縄市美里6丁目27番1号 【電話】098-937-4733
【業種】木材・木製品製造業
【事業内容】木工家具の製造

正規雇用化の数 3人

課題1
PROBLEM

若手経営人材の育成

当社は沖縄県内でも安定した販路をもった木工家具メーカーであり、技術を持った職人を多く抱えています。

しかし、近年の木工業界は本土の大手家具メーカーと中国家具メーカーの競争が激化しており、当社のような中小木工家具メーカーにとっては、厳しい状況が続いている。

そんな厳しい競争環境の中で従来のような職人的な働き方だけでなく、状況を多角的な視点で捉え、現状を打破するため

の施策を考えられる人材の育成が必要となっていました。

今回の支援では、職人的な視点だけでなく、経営的な視点を持つ若手経営人材の育成を課題とし、商品企画から製造・販売に至るまで経営に関する基礎的な知識習得を目指しました。

また、本人たちのキャリア形成の観点からも会社経営の方向性とマッチしたキャリアビジョンの作成にも取り組むこととした。

支援
SUPPORT

経営理論の学習支援・キャリアコンサルティングの実施

経営視点を持つために必要な知識として以下の内容を講義形式で学習しました。また、個人のキャリアと企業のビジョンのマッチングを図ることを目的としたキャリアコンサルティングも実施しました。

①経営理念:大手老舗企業の理念を例にとって、その企業の存在意義やあり方について学びました。

②事業戦略:競争戦略・成長戦略のフレームワークやその活用方法をワークを通して理解を深めました。

③マーケティング:STPや4P等のフレームワークについて学びながら、世に出ている商品・サービスをマーケティングの視

点で分析し、意見交換を行いました。

④損益計画・資金繰り計画:売上目標を立てる上で必要な損益計画や実際の資金の流れを見る上で必要になる資金繰りの考え方について学習しました。

⑤キャリアコンサルティングの実施:個人のやりたいこと・できることと会社の方針がマッチするようなキャリア形成の支援を行いました。将来やりたいことに向けて今やっておくべきことを明確化することで、仕事に対する意欲の向上や日頃の学習意欲の向上を図りました。

成果
RESULT

若手スタッフの視野の拡大

スタッフの視野が広がりました。職人として、日々の業務を行うだけでなく、顧客ニーズの視点からどのような製品・サービスが求められているのか、現在行っている業務はどのような意味を持つのかなどを考える視点が育ちました。

また、会社のビジョンと自身のキャリア形成を両立させることの重要性・意義を理解し、自身の仕事の仕方や身につけておきたい知識や技術等についても俯瞰した視点で考える機会を作ることができました。



企業・支援担当者の声



代表取締役
高江 尊さん

支援を受けられた皆さんの感想と今後の展開について



中小企業診断士
尾関 亮

本事業を活用し、企業としてレベルアップのきっかけを頂いたと感謝いたします。

中小企業診断士のお力を借りる事で、社内でも新たな経営方針を作り上げ事ができ来年度よりその新たな経営方針の基、従業員には「この会社で働くことができる幸せだ」と思ってもらえるよう代表として今後も努力してまいります。

当社は業界の厳しい競争環境の中で生き残るために県内同業者を巻き込んだ取り組みを検討しています。

今回の支援がその一助となり、正規雇用化の推進につながれば幸いです。

課題2
PROBLEM

県内木工家具メーカーを巻き込んだ事業の実施

沖縄の木工家具メーカー業界は高い技術を有している事業所があるにも関わらず、経営的な面で本土の大手家具メーカー、中国の家具メーカーに後れを取ってしまっている状況にあります。

このような厳しい競争環境の中、沖縄県内の木工家具メーカーが成長するためには、どこかの県内木工家具メーカーが先陣を切って新商品の開発や販路の開拓を行っていく必要が

あると考え、事業の方向性・業界活性化の方向性を模索してきました。

そこで今回の支援では、当社単独ではできない事業を国や県の補助事業を活用して実施することを検討し、沖縄県内木工家具メーカー業界の活性化につながる事業計画の作成、該当する補助事業の利活用について検討することにいたしました。

支援
SUPPORT

事業方針の整理と公的施策とのマッチング

県内木工家具メーカー活性化のための事業方針の検討を行いました。

①強みの整理:当社の強みは設備と人材です。ここ5年間は生産性を高めるために積極的に設備投資を行ってきており、沖縄県内での木工家具メーカーの中では生産性が非常に高い状態になっています。

②事業方針の検討:県内木工家具メーカーは技術力は高いが販路が弱い傾向にあるようです。よって、当社が率先して新

たな販路を開拓し、顧客ニーズを満たす製品開発を県内木工所に外注する形をとることで当社も他の県内木工家具メーカーも潤う構造ができるのではないかと考えました。

③対象補助事業の検討:国や県の施策の中で県外・海外販路拡大に対して支援が受けられる事業を模索。事業の目的と当社の事業の目的の整合が取れているかなどの確認を行いました。また、補助事業のスキームや必要な作業などについても学習し、申請書の作成等にも着手しました。

成果
RESULT

事業方針の決定と 補助事業への申請準備

県内木工家具メーカー活性化のための事業構想が固まりました。県外・海外販路開拓は簡単ではありませんが、他の木工家具メーカーと協同で国や県の補助事業を活用すれば十分可能な範囲ではないかと思われます。

公的施策の情報収集しながら当社の向かう方向性とマッチした事業を選択・活用を進めていくことで、県内木工家具メーカー業界を活性化や自社の販路の拡大を進めていきたいと考えています。





正規雇用化の数 1 人

冷凍野菜、冷凍スムージーパックの販路拡大で、顧客も農家も従業員もハッピーになる

有限会社ハッピーモア

【代表者】多和田 真彦

【住所】宜野湾市志真志1-1-2

【電話】098-896-0657

【業種】小売業

【事業内容】農産物直売所



企業・支援担当者の声



代表取締役
多和田 真彦さん



中小企業診断士
黒瀬 幸多



社会保険労務士
青山 喜佐子

支援を受けられた皆さんの感想と今後の展開について

私達の課題となっている新規事業に向けてのマーケティングのサポートをやっていただきました。とても良かったことは課題の整理ができたことです。整理することで優先順位や顧客への戦略等がわかり、実践に向けてより具体的に計画を立てることができました。現在、テストマーケティングとして店舗内で冷凍野菜お試しパックを試食していただき良い反応を感じています。

また、沖縄県経営革新事業へもチャレンジしました。今回のサポート内容を実践して売上拡大や売上安定化をめざして取り組んでいきたいと思います。

今回の支援を通して感じたことは、顧客や、県内小規模農家さん、働いている従業員のことをとても真剣に考えている企業だと思います。

今回策定したマーケティング戦略を実行することで、冷凍スムージーが県内外の食生活に浸透し、当社が目指す、県内農家の発展、健康長寿に貢献できることを期待しています。

非正規社員の正社員化にあたり、労働環境整備のご提案と就業規則の作成支援を行いました。これからも働きやすい職場環境の整備及び人材育成を行うことで会社も社員も成長し、発展することを期待しています。

課題1 PROBLEM

生鮮野菜の高付加価値化と食品ロスの削減

当社は平成20年より農産物直売所(ハッピーモア市場)として小規模農家の販売手助けを目的に、近隣農家より安心して食べられる新鮮な野菜や果物を販売しています。飲食スペースでは、野菜スムージーや野菜カレーなど当社オリジナル商品を販売していますが、特に野菜スムージーは人気があり、これを目当てに来店されるお客様も多く見られます。

しかし生鮮野菜においては、安定供給が難しいことや、逆に供給過多になった場合は薄利多売、食品ロスになってしまうなどの問題がありました。

そこで当社では、瞬間冷凍保存の技術を活かした冷凍野菜、冷凍スムージーパックを開発し、商品の高付加価値化や、保存期間の延長を図り、売上拡大、売上安定化、食品ロスの削減を図ることを考えいました。

今回の正規雇用化サポート事業の支援では、冷凍スムージーパックの販売拡大に焦点を当て、具体的なマーケティング戦略の策定を支援しました。

支援 SUPPORT

実効性のあるマーケティング戦略の策定

マーケティング戦略の策定にあたっては、ヒアリング形式で進め、下記の事項について提案・助言・作成のサポートを行いました。

◆市場分析を行う

まずはスムージー市場や冷凍食品関連の市場動向を調査しました。さらに県外、県内の競合他社を調査しました。また当社の強みを調査し、他社と比較した場合の優位性を分析・評価しました。

◆市場でのポジションを決める

競合他社と差別化し、競争力のある商品やサービスを提供

するには、市場をどのようなカテゴリーに分け、ポジショニングすればよいかを検討しました。

◆商品のコンセプトを策定する

冷凍スムージーパックを誰に提供すれば喜んでくれるのか、この商品の本当の価値は何なのか、顧客にどのように提供すればベストなのかを検討しました。

◆具体的なマーケティング戦略とアクションプランに落とし込むマーケティング戦略(商品、価格、流通、プロモーション)を策定し、具体的なアクションプランへと落とし込みました。



成果 RESULT

ネットショップ＆ふるさと納税での販売につながった

今回マーケティング戦略を策定したことでの、ネットショップ＆ふるさと納税での販売につながりました。まだ始まったばかりですが、冷凍スムージーパックや冷凍野菜が軌道に乗れば、売上や利益率の向上、近隣農家との取引拡大、ひいては雇用の安定化、正規雇用化につながればと思っています。

また冷凍野菜や冷凍スムージーが県民生活に浸透することで、沖縄県の健康長寿に貢献できればと思っています。

今後は、沖縄県の経営革新強化支援事業にチャレンジするなど、さらにこの事業を推進、発展させていきたいと思います。

課題2 PROBLEM

人材育成及び労働環境の整備

経営者の前向き思考が、社員全員に伝わっている明るい職場です。現状では、経営者とのコミュニケーションは良好ですが、さらに社員の能力発揮を計画的に行うために、労働環境のルールを明確にし、社員全員への周知が必要です。これまでの規程を見直し、ハッピーモアに適した働きやすい職場づくりに着手しました。

働き方のルールは、全員が理解して、お互いに協力しあう体制づくりのために、法令に基づいた原則的な部分と、社員の状況に合わせて、柔軟な運用も必要です。

労働環境は、経営者の責任で良くなるものではないので、社員全員がアイデアを出し合いながら、個人も会社も成長していく職場をめざして下さい。

支援 SUPPORT

働き方にあった就業規則の作成

ハッピーモア様の働き方は、働く人の状況にあった「働きやすい職場」の工夫が行われていました。経営者の方も、以前から就業規則の作成は準備していました。

ただ、条文の解釈や現場での管理のあいまいさをクリアにするよう、調整が必要でしたので、その部分を話し合いました。短時間勤務のシフトの組み方や、リーダーになる社員の責任範囲と賃金のバランスなどです。

社員が「働ける時間で働くための勤務形態」やそのための業務引継ぎに必要な社員の訓練、また突然の休みに対応する協力体制など、国が進めている「働き方改革」の一歩先行く考え方です。

企業として成長発展するために、思い付きだけでなく、職場の基本となる「就業規則」を改正したことが、レベルアップの第一歩となっていくことが期待できます。

成果 RESULT

就業規則と働き方改革

今回の就業規則の作成は、労働環境整備の第一歩です。これからは、社員全員で就業規則を磨き上げていく必要があります。お客様からのニーズも変化していく時代です。そのニーズに対応するために、社員も新しい働き方を自分たちで提案していかなければなりません。

企業が成長していくと、多様な考え方の社員が入社してきますので、先輩や同僚が、ハッピーモアの企業風土を伝えていくことが、社員の育成になります。

問題が起きたときは就業規則を確認することで、お互いが納得するためのルールブックと考えてよいでしょう。



4. 支援企業一覧

■令和元年度 正規雇用化サポート事業 支援企業 一覧 (22社)

No.	企業名	業種等	所在地	正社員化数	紹介ページ
01	アベックスプラン沖縄 株式会社	福祉サービス業	中城村	8人	07~08p
02	有限会社 エレメンツ	製造・小売業	沖縄市	1人	09~10p
03	ゑんぴつ堂	専門サービス業	宜野湾市	2人	11~12p
04	株式会社 OBM(皿の上の自然)	飲食業	恩納村	1人	13~14p
05	株式会社 沖縄リネンサービス	クリーニング業	糸満市	5人	15~16p
06	株式会社 郷家(ごーや)	飲食業	宮古島市	2人	17~18p
07	特定非営利活動法人 あいわせさまさま	障がい者福祉事業	石垣市	1人	19~20p
08	株式会社 S-ma(スマ)	飲食業	那覇市	3人	21~22p
09	一般社団法人 たくし学園 たくし学童クラブ	放課後児童クラブ	浦添市	1人	23~24p
10	とけし商事 株式会社	米卸売業・飲食業	北谷町	1人	25~26p
11	株式会社 ドリームプラン	理美容業	那覇市	5人	27~28p
12	株式会社 西南門小カマボコ屋	水産練製品製造業	糸満市	2人	29~30p
13	株式会社 ぬちまーす	塩製造業	うるま市	5人	31~32p
14	株式会社 松幸	建設業	沖縄市	2人	33~34p
15	豆ボレボレ	卸・小売業	沖縄市	4人	35~36p
16	美崎運輸 株式会社	運送業	石垣市	4人	37~38p
17	株式会社 YuMe MUSIC(ユーミュージック)	サービス業(ボーカル教室)	沖縄市	2人	39~40p
18	アサノグループ 合同会社	サービス業(学習塾)	浦添市	1人	41~42p
19	沖縄綜合警備保障 株式会社	総合警備業	宜野湾市	26人	43~44p
20	楚辺印刷	印刷業	那覇市	1人	45~46p
21	有限会社 高江木工	木材・木製品製造業	沖縄市	3人	47~48p
22	有限会社 ハッピーモア	小売業	宜野湾市	1人	49~50p
合計				81人	

※正社員化数については見込み数です。

■平成29年度 正規雇用化サポート事業 支援企業 一覧 (22社)

No.	企業名	業種等	所在地	正社員化数
01	社会福祉法人 愛和シャローム会(みつばこども園)	認定こども園	金武町	10人
02	社会福祉法人 愛和福祉会(愛和保育園)	保育園	西原町	4人
03	株式会社 いちば	食品製造業	宮古島市	3人
04	西表島交通グループ(代表:株式会社 西表島観光センター)	サービス業	石垣市	3人
05	浦添市小規模認可保育園正規化促進グループ(たくし保育園・さつき保育園・サウンドキッズ)	保育園	浦添市	5人
06	株式会社 沖縄観光開発	サービス・宿泊業	糸満市	3人
07	株式会社 健食沖縄	卸・小売業	那覇市	2人
08	社会福祉法人 幸福義会(ビノキオ保育所・ねたて保育園・花のいろ保育園等)	保育園	宜野湾市	5人
09	サンクスラボ 株式会社	福祉事業	那覇市	7人
10	花の民 花卉園芸	農業	八重瀬町	2人
11	ファニチャーストアPEARL(パール)	小売業(輸入家具類)	宜野湾市	3人
12	株式会社 富士盛建設	建設業	那覇市	2人
13	ラ・フロントドア 合同会社	食品製造業	沖縄市	2人
14	合同会社 琉(ディサービス孫の手)	介護事業	西原町	3人
15	琉球海運グループ(代表:琉球海運 株式会社)	海運業	那覇市	15人
16	株式会社 琉球フロント沖縄	食品卸・小売業	那覇市	1人
17	社会福祉法人 若夏会	障害福祉サービス	石垣市	4人
18	有限会社 あい技建	土木設計コンサルタント	那覇市	1人
19	有限会社 くりえ	医療福祉	うるま市	1人
20	社会福祉法人 清明会(特別養護老人ホーム でいご園)	医療・居宅介護	宜野座村	12人
21	社会福祉法人 まなぶ福祉会(森川保育園・はごろも保育園)	保育園	宜野湾市	3人
22	株式会社 マーミヤ	食品製造業	石垣市	3人
合計				94人

■平成30年度 正規雇用化サポート事業 支援企業 一覧 (24社)

No.	企業名	業種等	所在地	正社員化数
01	アイントーブス 株式会社	複合サービス業	金武町	—
02	株式会社 アメニティ	飲食業	那覇市	5人
03	伊山グループ(代表:有限会社 介護センター)	介護事業、他	宮古島市	2人
04	株式会社 エムワイオート	自動車修理・販売業	浦添市	1人
05	有限会社 ケアエンドサービス	介護事業	那覇市	3人
06	社会福祉法人 韶福祉会(さうんど保育園)	保育園	西原町	2人
07	さんだん花グループ	医療・介護事業	宜野湾市	4人
08	有限会社 シャイニング	小売業	那覇市	2人
09	株式会社 ジェニッククリエイション	ウェディング関連事業	豊見城市	—
10	城間びんがた工房	伝統工芸	那覇市	1人
11	株式会社 スピア	情報処理サービス業	中城村	4人
12	世界のブエノズキン 合同会社	飲食業	浦添市	1人
13	社会福祉法人 勢理客福祉会(勢理客保育園・愛音こわん保育園)	保育園	浦添市	3人
14	一般社団法人 たっくたっく	学童保育	那覇市	3人
15	社会福祉法人 豊春福祉会(こくら保育園)	保育園	那覇市	3人
16	NPO法人 Toi Toi	医療・福祉	沖縄市	3人
17	農業生産法人 株式会社 なんじょう牧場	酪農業・飲食業	南城市	2人
18	株式会社 パーフェクトM	建設業	那覇市	2人
19	hinata cafe(ヒナタカフェ)	飲食・菓子製造販売業	うるま市	2人
20	有限会社 フタバ	縫製業	那覇市	11人
21	社会福祉法人 ユームツ会	福祉サービス業	宮古島市	1人
22	琉球協同飼料グループ(代表:琉球協同飼料 株式会社)	畜産業	南風原町	25人
23	久米総合開発 株式会社	養殖業	久米島町	2人
24	二見以北地域振興会(わんさか大浦パーク)	直売所運営・観光サービス	名護市	—
合計				82人

■平成28年度 正規雇用化サポート事業 支援企業 一覧 (19社)

No.	企業名	業種等	所在地	正社員化数
01	株式会社 アイティオージャパン	化粧品製造販売	那覇市	1人
02	有限会社 ヴィーナス	専門サービス業	浦添市	1人
03	株式会社 えがおの花	福祉・介護	与那原町	3人
04	株式会社 沖縄ダイケン	ビルメンテナンス業	浦添市	6人
05	合同会社 暮らしかたらぼ	専門サービス業	北中城村	2人
06	株式会社 サンシオ	食品製造	西原町	3人
07	株式会社 シーサー	専門サービス業	那覇市	12人
08	医療法人 誠和会(介護老人保健施設シルバーピアしきな)	介護老人保健施設	那覇市	3人
09	株式会社 てっぺん	飲食業	石垣市	4人
10	社会福祉法人 那覇垣花福祉会(すがやま保育園・鏡原保育園)	保育所	那覇市	15人
11	社会福祉法人 馬天福祉会(馬天保育園・船越保育園)	保育所	南城市	7人
12	社会福祉法人 平和福祉会(へいわだい保育園)	保育所	豊見城市	1人
13	ビーイージー 株式会社	廃棄処理業	浦添市	3人
14	有限会社 まあさんど	飲食業	沖縄市	2人
15	社会福祉法人 道福祉会(テクノ保育園)	保育所	浦添市	2人
16	ライオン・ビルメンテナンス	ビルメンテナンス業	石垣市	2人
17	映像プロダクションFs-GAME	映像制作・配給業	那覇市	3人
18	株式会社 光エンジニア	管工事	那覇市	1人
19	宮古島ウェディング&コミュニケーションズ株式会社	サービス業	宮古島市	—
合計				71人

正規雇用化サポート事業(沖縄振興特別推進交付金活用事業)
令和元年度 正規雇用化サポート事業 成果報告書

令和2年3月発行
発 行 沖縄県商工労働部雇用政策課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号

運営事務局 一般社団法人沖縄県中小企業診断士協会
〒903-0801 沖縄県那覇市首里末吉町4-2-19
コ-ボ 23 202号